

飛騨地域の夏秋トマト栽培に適した品種「麗月」、「桃太郎ワンダー」

【要約】「麗月」と「桃太郎ワンダー」は、盛夏期の着果性がよく、裂果や空洞果の発生が少ないため、A品率と収量性が高く、飛騨地域の夏秋栽培に適した品種である。

中山間農業研究所・試験研究部

【連絡先】 0577-73-2029

【背景・ねらい】

飛騨地域の夏秋トマト産地（飛騨トマト部会 H29年度）では、「桃太郎8」、「桃太郎セレクト」、「桃太郎サニー」、「桃太郎ギフト」、「結夏」が共同出荷の対象品種に指定されている。しかし、これらの品種では、盛夏期の着果性の悪さや裂果の発生などが問題となっていることから、着果性・収量性が高く、裂果の少ない飛騨地域の夏秋トマト栽培に適した品種を選定する。

【成果の内容・特徴】

- 1 「麗月」は「桃太郎8」と比較し、摘果した1～3段以降の着果数が多く、特に盛夏期の着果性が高い（図1）。また、平均果重は小さいが、裂果や空洞果等の発生が少ないことからA品率が高く収量性が高い（表1）。
- 2 「桃太郎ワンダー」は「桃太郎8」と比較し、裂果や空洞果等の発生が少ないことからA品率が高く収量が高い（表1）。
- 3 茎径は「桃太郎ワンダー」、「桃太郎8」、「麗月」の順に太く（図2）、「桃太郎ワンダー」はやや強めの草勢となる。

【成果の活用・留意点】

- 1 「麗月」は、多収性であるがやや小玉なため、大果生産には向かない。また、やや尻腐れ果等が発生しやすい。
- 2 「桃太郎ワンダー」は、やや強めの草勢となりやすく、葉先枯れ等が多くなる場合があるため必要以上に草勢を強めない。
- 3 「麗月」及び「桃太郎ワンダー」を導入する場合は、一度に大面積での品種変更を行わず、必ず試作して圃場条件等に合わせた栽培管理をする。

【具体的データ】

表1 各品種の収量・品質

供試品種	年度	可販収量 (kg/10a)	A品率 (%)	格外 (%)	裂果 (%)	空洞果 (%)	平均果重 (g)
桃太郎8	H27	9,922	28	15	30.0	36.0	198
	H28	11,264	31	17	6.4	1.4	195
	H29	10,833	38	19	20.0	19.0	195
	平均	10,673	32	17	18.8	18.8	196
麗月	H27	12,705	55	15	4.0	13.0	188
	H28	13,259	48	10	0.0	0.7	173
	H29	12,472	77	9	0.5	9.2	175
	平均	12,812	60	11	1.5	7.6	179
桃太郎ワンダー	H27	10,752	43	26	6.0	2.3	197
	H28	10,984	42	16	3.7	0.6	194
	H29	12,032	61	10	14.9	12.0	182
	平均	11,256	49	17	8.2	5.0	191

注) 播種：穂木 3/中下旬、台木 3/中旬、接ぎ木：4/上中旬、定植：5/中下旬

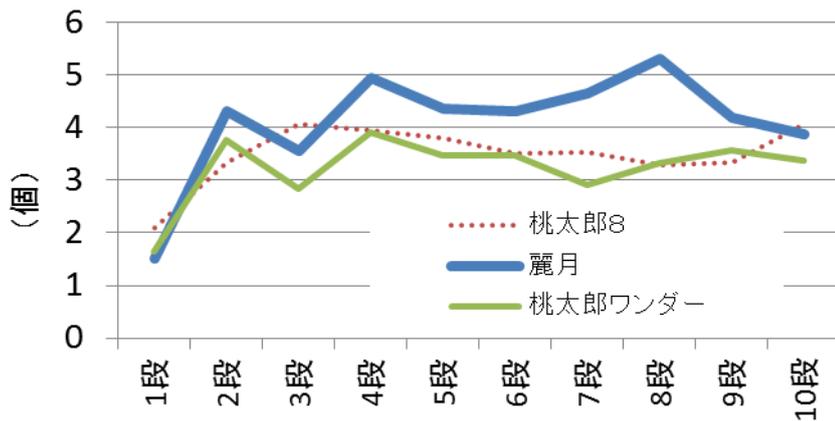


図1 各品種の着果数の推移 (平成 29 年)

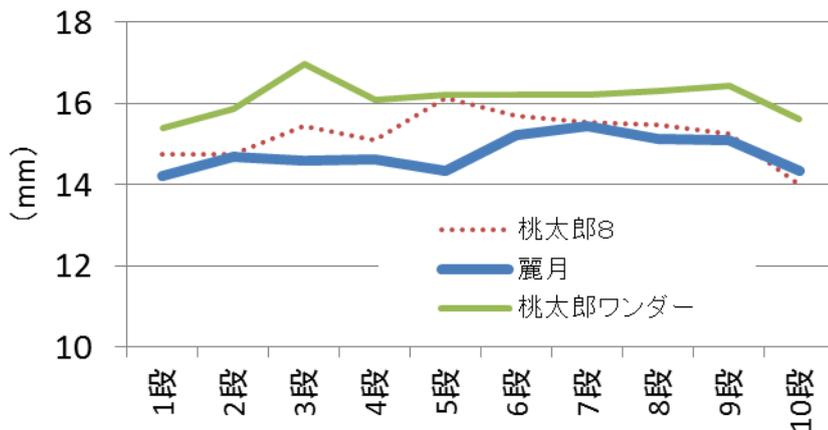


図2 各品種の茎径の推移 (平成 29 年)

研究課題名：夏秋トマトの革新的 20 t 穫り多収栽培システムの開発 (平成 26～30 年度)
 研究担当者：浅野雄二